

事務事業名	消防団設備維持管理事業		所属部局	消防本部		単位番号	13072				
			所属課室	消防課		課長名	芦沢俊一				
			所属担当	地域消防		担当者名	森本浩人				
基本政策	基本計画体系	実施計画事業	情報と連携の都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
					01	一般	0	9	0	1	0
政 策	06		安全な環境づくり	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業						
施策	08		防災体制の充実		☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返（開始年度 15 年度）		期間限定複数年度（ ～ 年度）	法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 消防団の所有する消防ポンプ車等の車検代及び修繕に関する費用等の維持管理。			事業費の主な内訳（ 22年度 ）							
				項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)				
				修繕費	3,229						
				手数料	335						
				保険料	234						
				公課費	1,086						
				計		4,884					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	消防団の所有する消防ポンプ車の車検代及び修繕
23年度活動予定	消防団の所有する消防ポンプ車の車検代及び修繕
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
消防団の所有する消防ポンプ車	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
消防ポンプ車が継続して使用出来る	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
安心して消防団の活動が行える	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: ポンプ車数	台
イ:	
ウ:	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 今年度車検を迎えるポンプ車数	台
イ:	
ウ:	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 車検が完了したポンプ車の数	台
イ:	
ウ:	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア: 安心して消防団活動が行えると思った団員の割合	%
イ:	

(2) 事業費・指標の推移			単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	3,082	4,884	5,717	6,072	6,072	6,072	
	事業費計 (A)			千円	3,082	4,884	5,717	6,072	6,072	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3	
		延べ業務時間	時間	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	
		人件費計 (B)	千円	10,260	10,260	9,113	9,113	9,113	9,113	0
	(A) + (B)			千円	13,342	15,144	14,830	15,185	15,185	0
活動指標			ア: 台	22.0	28.0	23.0	28.0	22.0	22.0	
			イ: 台							
対象指標			ア: 台	22.0	28.0	23.0	28.0	22.0	22.0	
			イ: 台							
成果指標			ア: 台	22.0	28.0	23.0	28.0	22.0	22.0	
			イ: 台							
上位成果指標			ア: %	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
			イ: %							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	自治体消防制度が23年に発足し、市町村の事務として行われている。平成15年の町村合併により南アルプス市となりそれに伴い16つ町村の消防団が統合され、南アルプス市消防団となった。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	旧町村ごとに購入していた消防ポンプ車だが、南アルプス市全体で見ると単年度に何台も購入している形になってしまう。耐用年数を15年～20年位で年2台ごとで計画的に購入していかなければならない。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	古い車両から計画的に更新して欲しいと要望有り。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	年数が経過するほど、定期整備やメンテナンスが重要になってくる。前回は若草分団や八田分団でポンプ車の取扱い講習会を開催した、今後も別の分団でも消防ポンプ車の講習を実施し維持管理に役立てている。
H 22年度に実施した改革改善の内容	八田分団で消防ポンプ車取扱い講習会を行った。

事務事業名	消防団設備維持管理事業	所属部	消防本部	所属課	消防課
-------	-------------	-----	------	-----	-----

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 市民の生活を守る消防ポンプ車の修繕維持管理費用	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】 市民の生活を守る消防ポンプ車の修繕維持管理費用	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 適切である 【理由↓】 市民に反映している	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☒ 向上余地がある 【理由↓】 ☐ 向上余地がない 【理由↓】 機器の取り扱いを習得させることにより、故障を少なくする。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 消火活動等に影響する	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】 故障したポンプ車などでは消火活動ができない
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】 ポンプ車の更新年数延長により、修理等の費用が増える	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 削減余地がない 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】 地域の安全に寄与するものであるため、公平・公正である	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	ポンプ車更新年数の延長により、修理等が多くなるので、適切な取り扱い方法を習得させる必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☒ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☒</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☐</td><td>☐</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☒	☐	維持	☐	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☒	☐																		
	維持	☐	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について 適切な取り扱い方法を習得させる必要がある。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td></td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td></td></tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						